

赤木名中 学校だより
観陵だより
 平成26年10月号 10. 1.

「完全燃焼」の体育大会！



「完全燃焼、きらめけ、118人の闘士たち」のソーランのもと、多くの皆さんが見守る中で、第67回体育大会が開催されました。

入場行進が始まってからは、絶好のスポーツ日和になり、応援団どうしのエール交換を皮切りに、体育大会が始まりました。

今年も、生徒会保健体育部が練習の企画や運営を進め、3年生を中心とする応援団が各団員をまとめながら練習してきました。全校生徒が競技や演技、そして応援に精一杯に取り組みました。歯を食いしばり懸命に走る姿や仲間を応援する大きな声が、見守る人々に心地よい感動を与えていました。

女子全員による「ワイド節」は、にこやかな笑顔を届け、男子の「エッサッサ・相撲体操」は、規律ある勇猛な素晴らしい演技でした。競技の部では白組が、応援の部では赤組が優勝しましたが、どちらも最高のパフォーマンスを見せ「完全燃焼の体育大会」でした。

当日、大いに盛り上げていただきました保護者の皆様にも感謝申し上げます。また、朝早くからお手伝いいただいたPTAの皆様、お忙しい中御来場くださった来賓や関係各位、全ての方々に感謝申し上げます。



全国学力・学習状況調査の結果

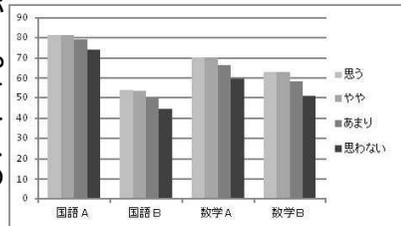
4月に行われた平成26年度の「全国学力・学習状況調査」の結果の通知がありました。

「国語（A知識・B活用）」「数学（A知識・B活用）」の4つの領域において、鹿児島県は、全国の平均をやや下回りましたが、本校は、全ての領域で全国の平均を3点以上上回る結果でした。特に、「数学のB活用」においては、8点以上上回る結果でした。

国語科においては、「抽象的な概念を表す語句が示すものについて理解する」問題や「資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書く」問題の正答率が低く、数学科においては、「与えられた度数分布表のある階級の相対度数を求める」問題や「付加された条件のもとで証明を振り返り、その過程で見いだした事柄や証明された事柄を用いる」問題の正答率が低かったため、授業の中で類似問題等にも取り組み、さらに力をつけていきたいと考えます。

自分の考えを述べる力を！

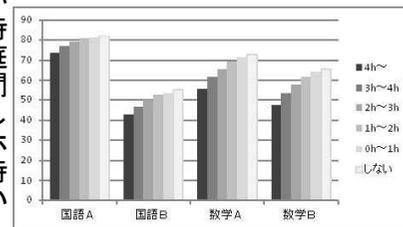
全国の生徒質問紙の集計から、「自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」という質問に、「できている」と答えた人の平均点は、「できていない」と答えた人の平均点より、どの領域においても高いことがわかりました。（グラフ参照）最大は「数学B」で、12.4点の差がありました。つまり、「ペア・グループ学習」や全体での「練り上げ」の場面で、主体的に自分の考えを深めたり、発表したりすることが、全ての教科・領域の力をつけていくことにつながることになります。根拠や理由を持つて自分の意見をもち、表現してほしいものです。



ゲームやスマホは時間を決めて

同じく、全国の生徒質問紙の集計から、「1日あたりどれ位の時間、スマートフォンなどで通話、メール、ライン等を使いますか」という質問には、使用時間が増えるほど、どの領域においても通過率の平均点が低いことがわかりました。（グラフ参照）最大は「数学B」で、「4時間以上する人」は「全くしない人」より18.6点低い結果となりました。これは、「テレビゲーム」等をする時間との関係でも同じで、最大の「数学B」で18.5点の差がありました。

赤木名中学校の実態調査でも、1日4時間程度スマホやゲームをすると答えた人が、各学年1～2人いることがわかっています。1日4時間とすると夜の8時から始めて、12時までです。家庭学習や睡眠時間がとれるのでしょいか？スマホやゲーム等は時間を決めて使いましょう。



10月の行事

- 4(土) 中学生国際交流派遣事業（～18）
- 5(日) 第31回赤木名校区相撲大会
- 7(火) 家庭教育学級（島じゅうり）
- 10(金) 地区駅伝競走大会
- 12(日) 招魂祭相撲大会
- 13(月) □体育の日
- 14(火) 市SC来校
- 15(水) 学級弁論大会
- 16(木) 全学年実力テスト（～17）
- 20(月) 職員会議
- 24(金) 数学科教科研修会研究授業
- 26(日) 笠利地区市民体育祭
- 27(月) 生徒会活動
- 28(火) 文化祭りハーサル、市SC来校
- 29(水) 文化祭準備
- 30(木) 文化祭、校内弁論・英語暗唱大会



「完全燃焼，きらめけ，118人の闘士たち」のスローガンのもと，多くの皆さんが見守る中で，第67回体育大会が開催されました。

入場行進が始まってからは，絶好のスポーツ日和になり，応援団どうしのエール交換を皮切りに，体育大会が始まりました。

今年も，生徒会保体委員会が練習の企画や運営を進め，3年生を中心とする応援団が各団員をまとめながら練習してきました。全校生徒が競技や演技，そして応援に精一杯に取り組みました。歯を食いしばり懸命に走る姿や仲間を応援する大きな声が，見守る人々に心地よい感動を与えていました。

女子全員による「ワイド節」は，にこやかな笑顔を，男子の「エッサッサ・相撲体操」では，規律ある勇猛な動きを表現し届けることができました。競技の部では白組が，応援の部では紅組が優勝しましたが，どちらも最高のパフォーマンスを見せ「完全燃焼の体育大会」でした。

当日，大いに盛り上げていただきました保護者の皆様にも感謝申し上げます。また，朝早くからお手伝いいただいたPTAの皆様，お忙しい中御来場くださった来賓や関係各位，全ての方々に感謝申し上げます。

44日間の夏休みも終わり，いよいよ2学期が始まりました。夏休み期間中，大きな事件や事故もなく，嬉しく思っています。

また，相撲部の九州大会ベスト8をはじめ，多くの部活動が県大会でも活躍しました。その後，2年生を中心とした新チームに移行し，充実した夏の練習ができたと思います。

そして，多くの分野で一人一人が，普段はできない体験をして，1学期終了時よりも一回り成長した姿を見せてくれています。

2学期を始めるにあたり，「文武両道」の合言葉を再確認し，充実の学期にしたいものです。

まず，学習面では授業開始時の「目標の確認」を意識してほしいと思います。「この1時間で何ができるようになればいいのか。」確認して活動に取り組むことが大切です。

2つ目には，業の終わりに，自己評価をしてほしいということです。「この1時間，意欲的に取り組めたか。」自分なりの評価をしてほしいと思います。「できた」と評価できたら，

